研究課題名: 子育て支援に関わる保育士の就労継続を促す段階的支援プログラムの開発

研究種目: 基盤研究 (C) (一般)

研究代表者: 大森弘子 京都文教大学 こども教育学部 准教授

(概要)

子育て支援に関わる保育士には、児童福祉法第 18 条の 4 において「保護者に対する保育に関する指導」に関する業務が定められている。しかし、保護者に対する保育業務の原理や技能は、十分に構造化されておらず、保育士は、保護者との関係の難しさや責任の重さを感じながら、それぞれが持つ経験を頼りに子育て支援に努めている。広範かつ多様な子育て支援を実施していくこれからの保育士には、保育所を含む児童福祉施設内外での研修のみならず、保育士養成課程の強化と洗練が必要不可欠である。そこで本研究では、子育て支援に関わる保育士の就労継続を促す段階的支援プログラムの開発を目的とする。認知行動論的技法とリフレクションに基づく本支援プログラムによって、保育士の効力感(見通しや自信)が向上し、保育士が保育の仕事に喜びや誇りを持って働き続けることが期待できる。

※R6 研究計画書より抜粋